

第126回経営協議会議事要録

日時 令和6年9月18日(水) 10時30分～11時20分

会場 大学本部棟5階 第1会議室

出席者 (委員)

長田・進藤・山本・山中・野田・吉岡・齊藤・佐々木 各委員

中村学長、黒澤・奥田・茅・片田・市川・木内 各理事

(列席者)

小林理事、小俣・數野 各監事、埴副学長

志村・土屋・深澤・種田・壬生・雨宮・小谷・石原 各部長、

植村・望月・齊藤・大坂・笹原・大森・千野 各課長

会議に先立ち、新任の小俣監事及び數野監事から挨拶があった。

議事要録確認

第125回(R6.6.19開催)の経営協議会議事要録を確認した。

審議事項

- 1 令和5事業年度財務諸表の承認に伴う令和6年度学内補正予算(一次)編成(案)について
市川理事から、資料1により、令和5事業年度財務諸表の承認に伴い、決算余剰金をもとに、令和6年度学内補正予算(一次)を編成する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。
- 2 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等(案)について
片田理事から、資料2により、令和6年度標記コードの適合状況等について説明があり、審議の結果、これを承認した。

報告事項

- 1 令和7年度概算要求(運営費交付金及び施設整備費補助金)の状況について
市川理事から、資料3により、標記要求の状況等について報告があった。併せて、種田財務部長から標記要求事業の内容等について補足説明があった。

その他

次回会議 令和6年11月21日(木) 13時30分から医学部キャンパスで開催することを確認した。

学外委員からの意見・質問

審議事項

1 令和5事業年度財務諸表の承認に伴う令和6年度学内補正予算（一次）編成（案）について

（野田委員）

- ・大学本部と附属病院で互いに余剰金を融通（貸し借り）することは可能であるか。

（種田部長）

- ・基本的にはそれぞれの部署で活用することとなっているが、余剰金としては一体で管理しているので、大学本部と附属病院で融通（貸し借り）しあうことは可能である。

（野田委員）

- ・大学全体として適切かつ有効に活用してほしい。

（進藤委員）

- ・「令和5年度決算報告書では4億8千万円の黒字だが、損益計算書上利益が出ていない」と記載されていることについて要因等の説明をお願いしたい。

（種田部長）

- ・損益計算書は国立大学法人特有の会計処理により、現金に加え、現金を伴わない収益などを反映しているが、決算報告書では現金の流れのみを反映しているためである。

（片田理事）

- ・言い換えると決算報告書は現金主義であるが、損益計算書は発生主義で計上していることによるものである。

2 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等（案）について

（野田委員）

- ・ハラスメントに対する公益通報や相談窓口などの対応の仕組みはどのようになっているか。

（片田理事）

- ・学内・学外の公益通報窓口を設置するとともに社会保険労務士による管理職研修の実施を行っている。これらを通じ教職員にハラスメント防止に対する自覚を持つよう働きかけている。

報告事項

1 令和7年度概算要求（運営費交付金及び施設整備費補助金）の状況について

（山本委員）

- ・大学のオピニオンリーダーである役員が声を上げて、国立大学だけではなく、社会全体の教育費を増やしてほしいという意思表示のアクションをお願いしたい。

（中村学長）

- ・私立大学とも連携しながら、高等教育機関としての大学の役割を担っていきたい。また、そのためには、文部科学省以外の省庁が大学の役割を認識して、サポートしていくことが大事であると考えている。

（野田委員）

- ・大学のミッションをより明確に提示することなどし、寄附文化を醸成させ、安定して財源を確保していく必要があるのではないかと。

（市川理事）

- ・ミッション、寄附金の目的及び用途を具体的に示すことなどにより、アピールしていきたい。